

平成29年度 盛人大学実行委員会6月会議 審議結果

開催日時	平成29年6月17日（土） 16時45分から18時10分
開催場所	川口市立かわぐち市民パートナーステーション分室（会議室1・2）
出席者	<p>仲川委員長、青木副委員長、廣瀬副委員長</p> <p>社会教養コース：3名</p> <p>カウンセリング入門コース：3名</p> <p>国際コース：3名</p> <p>健康生きがいづくりコース：1名</p> <p>地域デザイン入門コース：2名</p> <p>ボランティア入門コース：2名</p> <p>郷土川口再発見コース：1名</p> <p>社会起業・ビジネスコース：1名</p> <p>農業体験コース：1名</p> <p>事務局：高山課長、買田課長補佐、作田主任、大崎主任、坂井主事補</p>
議題	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>（1）各コースの運営状況について</p> <p>（2）大学祭について</p> <p>3 報告</p> <p>（1）入学式の結果について</p> <p>（2）平成29年度応募結果（最終）について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
傍聴人の数	0名

会 議 資 料	会議次第 資料No.1 大学祭アンケート（実行委員あて）結果 資料No.2 入学式の結果について 資料No.3 平成29年度応募結果（最終）
審 議 経 過	別紙のとおり
そ の 他	—

## 審 議 経 過

### 議題

#### (1) 各コースの運営状況について

社会教養：初回の交流・ホームルームと講座を実施したが、まとまりのあるクラスであると感じている。受講生同士の交流が活発になるように、昨年度の反省を活かして、受講生の机の配置を学校のように1列に並べる方法から、3つのグループを作るように配置したことが良かったのではないかと思う。

カウンセリング入門：交流・ホームルームでは受講生の自己紹介と委員決めを行ったが、和やかな雰囲気ですムーズに進んだ。

国際：交流・ホームルームで委員決めを行ったが、スムーズに決まった。受講生の意識がとても高く、今日の講座でも多くの質問が出た。講師と受講生で有意義な意見交換をしていきたいと考えている。

健康生きがづくり：スムーズに委員を決めることができた。今年度は、講師に80分程度講義をしていただき、その後は各班やクラス全体で討議を行い、その結果を発表するスタイルに変更しようと考えている。

地域デザイン入門：委員決めは初回の講座後に行った。講座では基礎固めとグループワークを行った。グループワークである程度交流が深まったおかげで、委員がすぐに決まった。公開講座の日だったので、5名の聴講生と一緒に講義を行った。地域デザイン入門コースに興味持ってもらいたいと考えている。

ボランティア入門：スムーズに委員が決まった。受講して良かったと思っただけのよ  
うに、スタッフ一同サポートしていきたいと思う。

郷土川口再発見：講師のスケジュールの都合で初日から講座を行った。次回、交流・ホームルームを実施する。報告を聞いていると、スムーズに委員決めをできたコースが多いので、参考にしていきたいと思う。

社会起業・ビジネス：無事に委員決めができた。

農業体験：4月からスタートしていることから、委員決めは完了しており、主に農地で実習を行っている。7月9日のプチ収穫祭に向けて準備を進めていきたい。

委員長：全9コースの実行委員と事務局が一度に集まることは少ない。実行委員会は、全体で意見交換をできる貴重な機会である。今後もコース運営について意見交換や共有したいことがあれば、有効的に活用してほしい。

## (2) 大学祭について

事務局：資料2（大学祭アンケート（実行委員あて）結果）に基づき説明。平成30年度の大学祭に向けて昨年度から継続して議論している。大学祭の内容については、各コースの受講生から選出された大学祭実行委員を中心に決定している。内容を決定していくための大枠となる開催時間について実行委員会で決定したいと考えている。

委員長：受講生で構成される大学祭実行委員会では、内容を定めるだけで精一杯になると思う。開催方式を決定するにあたって、受講生に決定の理由や考えを説明できるように、しっかり審議、共有して決定していきたいと思う。各委員からも意見をいただきたい。

委員：会場を並木公民館に移すことで、いろいろな企画ができるのではないかなと思う。

委員：毎年、受講生に実施する大学祭アンケートでは満足度が高い。①のとおり、現行の開催時間でよいと考えている。受講生と卒業生の参加が多いので、どうすればいろいろな人に来てもらえるかについて考えるべきだと思う。

委員：拘束時間が長いという意見を受けて、前回の委員会で開催時間はそのままとして、午前を担当するコース、午後を担当するコースに分けてはどうかという提案をした。

委員：登録団体はかわぐち市民パートナーステーションに登録している社会貢献団体という解釈でよいか。

事務局：よい。

委員：それでは③がよいと思う。残るものが楽しただけではもったいない。他のコースや社会貢献団体のことについて知ることができるし、受講生の発表を見て入りたいと思う人が出てくることも期待できる。問題点として、発表会をすると決まっていることから、受講生の自主性が反映されにくいとしているが、発表内容については受講生の工夫でいくらでも自主性を出すことができるので、問題ないと考えている。

委員長：大学祭は、この建物がキャンパスとなったことから、まずは実施してみようという事で始まったものである。これまで大学祭の内容について議論をすることもなく、大きな変革はなかった。発表会を並木公民館で実施し、午後はキャンパスで何かを実施するという形もありだと思う。

事務局：確認だが、今議論しているのは来年度の開催方式についてである。今年度は現行の形で大学祭を行う。

委員長：コースごとの学習発表の場を拡大して、楽しむだけでなく他のことを知る良い機会にしたいという考え方でよいか。前回の発表時間は、他の企画との時間の関係から各コース5分程度になったが、15分程度取ることも可能になると思う。開催時間については、次回の委員会でも引き続き検討したいと思う。

## 報告

### (1) 入学式の結果について

事務局：資料2（入学式及び全体ガイダンス結果）に基づき報告。当日は大きな混乱もなく、無事終えることができた。各コースに担当を割り振らせていただいたが、お気づきになった点などがあれば、いつでも事務局職員にお伝えいただきたい。

委員：業務を終えてやることがなく、何もせずただ時間を過ごしているだけのコースもあった。解散時間について何か工夫があればよいと思う。

委員：これまでは講師や学長等の受付は階段を登った所に、受講生の受付は講座室に設

置していた。貼り紙をしたり、案内係が誘導をするなどの対策もしているが、やはり迷っている受講生が見受けられる。受付を全て同じ場所で行うことは可能だろうか。

委員：担当も毎年同じである。毎年同じ担当であれば慣れもあるため、スムーズに準備を進めるうえで効果的だと思うが、負担の公平を図るために来年度以降変えてみるのもありではないかと思う。

事務局：いただいた意見をもとに事務局で検討していく。

#### 平成29年度応募結果（最終）について

事務局：資料3（平成29年度盛人大学応募結果）に基づき報告。

#### その他

##### （1）コース運営協力費について

事務局：本市は来年4月に中核市に移行することになっている。中核市に移行することにより、包括的外部監査が実施されることになり、コース運営協力費も監査の対象となる。今後使用した際は、領収書を保存していただくようお願いしたい。また、残金が発生した場合は、返還をしていただく必要がある。ご理解とご協力をお願いしたい。

委員：コピーをした場合などはレシートが出てくるが、レシートは可能か。

事務局：コピーなどレシートが出てしまうものについては、レシートで可とする。宛て名は各コース名をお願いしたい。

# 平成29年度 盛人大学実行委員会6月会議

日時 平成29年6月17日（土）16時45分から

場所 かわぐち市民パートナーステーション分室（会議室1・2）

## 次 第

- 1 開会
- 2 議題
  - (1) 各コースの運営状況について
  - (2) 大学祭について
- 3 報告
  - (1) 入学式の結果について
  - (2) 平成29年度応募結果（最終）について
- 4 その他
- 5 閉会

※次回 7月22日（土）16：45～

### 配布資料一覧

資料No.1	大学祭アンケート（実行委員あて）結果	1
資料No.2	入学式の結果について	3
資料No.3	平成29年度応募結果（最終）	4





## 大学祭開催方式に関する実行委員アンケート結果

回答者数 10名

## 1 開催方式に関して

## ① 現行のまま継続して実施する

- ・ 受講生達の自主性を重んじる現行のスタイルでよいと思う。
- ・ 原則的には現行の開催時間でよいが、もっと充実させるために、会場を並木公民館に移し、大勢の人に楽しんでもらい、PRを兼ねて受講生の家族、知人等を招待できるシステムにし、案内状を配るようにする。
- ・ 現行のまま継続を希望。特に昨年実施した学習発表は良かった。

## ② 午後のみで開催とする

- ・ 12時スタートでもよいと思う
- ・ 午前・午後・イルミネーションの参加となると、負担を感じる。
- ・ 現行では拘束時間が長いのでコンパクトな開催が良いと思う。午前は有志、登録団体参加、フリーマーケット等。午後は受講生による企画。

## ③ 午前は、各コースによる中間発表会と登録団体の活動紹介、午後はキャンパスで懇親会を行う。

- ・ この機会に新しい試みを実施して、今後の比較研究の課題として、検討していったらどうかと思う。

## ★各開催方式による効果・問題点

	期待できる効果	問題点
①	大勢の方が参加可能	拘束時間が長い
②	受講生の負担減	出展に制限を設ける必要がある
③	一体感の醸成につながる	受講生の自主性が反映されにくい

## 2 出展内容について

- 各コースの活動報告、演芸などは従来方式で実施。
- テーマを決めてテーマに寄り添った各コースの発表・取組みを。
- 地元の小中学生や父兄が参加し共に楽しめるように工夫を凝らす。
- 受講生の作品（絵画、書、工芸、手芸、文芸、写真等）を展示し楽しんでもらう。
- 盛人大学OBにも参加してもらい、大学祭を大いに盛り上げる。（脳トレゲーム、健康に関する催しを平行開催する。）
- 各コース別に受講生OBより開催全般に亘り、過去に体験し楽しく面白かった事などの調査回答を得る。方法は別途考える。
- 各コースの自由企画に、更に工夫した出し物を期待する。

## 3 地域交流に関して

- 地域に呼びかけ参加を促す。
- 大学祭の折に、キャンパス近くの飲食店を宣伝してくれれば、キャンパス内の混雑を解消できる上に、地元への還元にもなる。

## 入学式結果及び全体ガイダンス結果

- 1 日 時 平成29年5月28日(日)  
入学式：13時30分から14時20分まで  
全体ガイダンス：14時25分から14時35分まで
- 2 会 場 並木公民館ホール（川口市並木2-8-2）
- 3 参加者
- |       |                |  |
|-------|----------------|--|
| ・受講生  | 232人（出席率85.6%） |  |
| ・正副学長 | 3人             |  |
| ・来賓   | 1人             |  |
| ・運営委員 | 3人             |  |
| ・講師   | 19人            |  |
| ・スタッフ | 45人            |  |
| ・職員   | 4人             |  |
| <hr/> |                |  |
| 合 計   | 307人           |  |
- 4 内 容
- 開式
- 開式の言葉 盛人大学副学長  
川口市市民生活部長 沢田 龍哉
- 国歌・川口市民歌斉唱
- 式辞 盛人大学学長 川口市長 奥ノ木 信夫  
盛人大学実行委員会実行委員長 仲川 聡
- 来賓紹介
- 盛人大学運営委員会委員紹介
- 平成29年度盛人大学講師紹介
- 閉式の言葉 盛人大学副学長  
NPO法人輝け盛人大学代表理事 阿部 晴山
- 閉式
- 全体ガイダンス 事務局

平成29年度 盛人大学応募結果

(6/13現在)

コース名	(a)定員	(b)申込者	内訳(※)		(c)受講決定者(抽選日)	(d)受講決定後辞退者	(e)補欠繰上者	(f)追加募集定員 f=a-(c-d+e)	(g)追加募集申込者	(h)受講決定者(最終) h=c-d+e+g	受講決定者内訳				
											男	女	平均年齢	最年長	最年少
A 社会教養	45	84	①	16	45	1	1	0	0	45	12	33	64.9	80	49
		②	16												
		③	32												
		④	20												
B カウンセリング入門	35	35	①	20	28	2	0	9	9	35	6	29	61.0	86	49
		②	2												
		③	7												
		④	6												
C 国際	45	75	①	33	45	3	3	0	0	45	21	24	66.3	82	50
		②	5												
		③	23												
		④	14												
D 健康生きがいがづくり	45	51	①	18	31	0	0	14	1	32	12	20	70.3	86	57
		②	15												
		③	11												
		④	7												
E 地域デザイン入門	20	7	①	2	4	0	0	16	4	8	5	3	58.9	68	51
		②	2												
		③	2												
		④	1												
F ボランティア入門	30	39	①	9	19	1	0	12	1	19	3	16	69.3	78	57
		②	10												
		③	3												
		④	17												
G 郷土川口再発見	40	83	①	25	40	3	3	0	0	40	25	15	69.6	85	53
		②	9												
		③	39												
		④	10												
H 社会起業・ビジネス	25	20	①	6	13	2	0	14	7	18	12	6	61.9	81	49
		②	7												
		③	7												
		④	0												
I 農業体験	35	33	①	28	33	1	0	3	0	32	20	12	61.1	77	50
		③	5												
合計	320	427	①	157	258	13	7	68	22	274	116	158	65.4	86	49
		②	66												
		③	129												
		④	75												

※申込者内訳(抽選時における優先順位)

- ① 過去3年間、受講経験がない方の第1希望
- ② 過去3年間、受講経験がない方の第2希望
- ③ 受講経験がある方の第1希望
- ④ 受講経験がある方の第2希望